

市民ワークショップ議事要旨 グループC

10/21(土)14:30~@COCOTOMA ラウンジ

ファシリテーター：2名、参加者：7名

<次第2>ワークショップ

第一部：新しい市民会館で何をしよう？

紹介事業アイデア 育てる：とまこまいキッズ基金
集 う：週末マルシェ de ライブ
関わる：共にアクション実行委員会
知 る：サイン考案部、広報とまこまい増刊号文化編集部
つなぐ：文化芸術コンソーシアム

【意見】

とまこまいキッズ基金

- ・ 古くなっている楽器などもあるので、新しい楽器がもっと欲しいとは思う。
➡市民が話し合っ楽器を用意するなどの活動が一つ考えられる。
- ・ 学校の予算では1年に1個しか楽器を買い替えることができない状態であり、部の活動が将来的に衰退してしまうのではないかと心配している、何か行動をしたいとは思っている。
➡ハイスペックな環境や機器があったら便利だと思うが、予算がつかないことが多い。
➡現状のスペックのパソコンでやりくりしているが、高性能なCADソフトなどがあると作業の幅も広がると思う。
- ・ 集めた基金を苫小牧の学生の海外留学の支援などに活用するという使い方も考えられる。
- ・ 市内の中学校の内、吹奏楽部があるのは6校であり、残り10校は吹奏楽を経験する機会がない状況である。新しい施設では、基金で楽器を用意できたら、市内の学生全員が吹奏楽をやるチャンスができて良いと思う。
➡市民ホールに楽器が備え付けられていたらホールで練習もできるだろうし、学校からトラックを借りて楽器を練習場所に運ぶ手間も無くなって良いと思う。
- ・ 苫小牧市は横に長いので、市内の皆が行きやすいように楽器を備えてある練習場が市内に3か所ほど欲しい。

文化芸術コンソーシアム

- ・ 日本舞踊を習いにいっている施設が今年で無くなってしまうと聞いて、今後の活動の場に困っている状態であり、同じように市内で活動場所に困っている人たちが少なくないのではないかと。
- ・ 茶道やバレエのような特殊な設備や場所が必要な活動もできるように配慮した新施設ができれば、異文化交流もしやすいと思う。
- ・ 市内の施設の練習室は利用者数が多く、取り合いになることが多い。平日の夜間の予約は困難である。
- ・ 新しい市民ホールは四つの施設が複合されるので、一つの練習室を複数の団体が合同で使うということもあるかもしれない。
- ・ 天井が高い音が響かない部屋での練習ができればいいと思う、ホールでできたら尚良い。
- ・ 様々な団体の人が同じ施設に活動しに来る場合、どうやってコントロールするかは重要になってくるだろう。

- ・ ➡逆に今まで知らなかった分野の活動に触れる機会にもなり得る。
- ・ 施設に子どもを迎えに来る親も楽しめるようになったら良いと思う。
 - ➡車で待っているのではなく、施設の中で休んでいられるカフェがあると良いかもしれない。
- ・ 年に数回しか会う機会がないので、他の学校の学生に合うと緊張してしまう。
 - ➡合同練習などで会う機会が増えれば、より話しやすくなるかもしれない。

どこでもアクション実行委員会

- ・ ホールを占有するのは気が引けてしまうので、ホワイエでソロ演奏の発表をしたいと思う。
- ・ ホワイエやロビーで開演前に演奏したり休憩時間にパフォーマンスしたりするのはよくあると思うが、他の施設と複合した時に、他の人に音がうるさいなどと文句を言われてしまったら残念な気持ちになってしまうと思う。
 - ➡そのような声にも歩み寄って、施設運営を考えていけたらいいと思う。
- ・ 試験期間に図書館へ行くと席が埋まっていて利用できないことが多いので、勉強してもいいという場所が欲しい。
- ・ 席に座ることができても短時間で譲らなければいけない時もあるので、落ち着いて勉強できる場所は欲しい。

週末マルシェ de ライブ

- ・ 店舗を出店する運営側の人たちがお金を用意できるように、施設に銀行窓口や ATM があったら便利になって良いのではないかと思う。
- ・ 他の学校が合同で集まれる機会が少ないので、新施設が集まれる場所になったらいいと思う。

サイン考案部／広報とまこまい増刊号 文化編集部

- ・ 例えば、学生が演奏会の告知のポスターを作成したいというときに、専門的な人たちがポスターのデザインを考えたり、作成の手助けをしてくれる活動が考えられる。
- ・ 定期演奏会の時に、来場者の人に「どこにポスターが掲示されているのかわからなかった。」という意見をもらったことがある。
- ・ 施設の中に専門的なスタッフや編集部が常設していて、相談したいときに利用できるイメージだといいたいと思う。
- ・ わかりやすい場所に様々なイベントの情報を知ることができる掲示板があればいいなと思う。

第二部：活動に見合った場所を考えよう！

検討事業アイデア① とまこまいキッズ基金



【意見】

- ・ 楽器を使うとしたら、どこで使いたいか。
 - ➡大ホールや練習室で楽器の演奏をしたい。
 - ➡100人くらいが入ることができる場所（小・中ホール）が良い。
- ・ 楽器を施設に備え付けるのなら、施設内をスムーズに運べるようにバリアフリーに配慮した施設が良い。
- ・ 建築の学生だと、大きな紙や道具を広げられるような場所で作業することもある。
 - ➡パソコン室が欲しい。
 - ➡コーヒーを飲んでリラックスしながら作業できる総合カフェなどがあってもいいかもしれない。
- ・ 演奏するときは横長で使い、コンサートをするときは椅子を置いて縦長で使える、というような多目的に変化できる部屋があると便利。
- ・ 使っていない部屋の一角を借りたいという要望があった場合に、部屋を区切ることができたら複数の団体が歩み寄ることもできるのではないかな。
- ・ 茅野市民館のように、施設中の活動を外まで広げて行うというやり方もある。
- ・ 室蘭の清水ヶ丘高校は1階の壁を開けると外とつながって屋外コンサートができるようになっていて、音楽室がそのままステージになる仕組みである。
- ・ 子供の親子さんのための待合室や託児所のような場所、時間をつぶせる場所があったら待っている時

間も快適になると思う。

→待っている時間に子供の練習の様子をガラス越しに見ることができたらいいのではないかな。

→親が別の用事で学校に来たついでに部活の練習風景を見ていくということはしばしばあるので、様子を見にふらっと立ち寄れる雰囲気があったらいいと思う。

・保護者だけではなく、他の団体も興味があって壁越しにのぞくことができたら交流につながると思う。

→ダンスや演奏の練習の時には音は聞こえない方がいいと思う。

→発表の時には聞いてほしいので、必要に応じて音が聞こえるようにできるようにしたい。

・建築などのデザインを考える作業をするときなどに、あったらいいなと思う場所はあるか。

→みんなで集まったらいいアイデアが出やすいと思うので、多くの人が集まる場所が欲しい。

・障がいを持つ人でも利用しやすい施設を考える必要があると思う。

・大きな楽器でも運びやすいように、幅の広い通路・開口・バックヤードが欲しい。

検討事業アイデア② サイン考案部／広報とまこまい増刊号文化編集部



【意見】

・情報を発信する場所としては、事務室での作業が考えられる。

・市の職員と関係を持たずに活動してしまうと伝わりにくいと思うので、広報とまこまいに携わっているスタッフが来てくれるといいと思う。

・「カフェでデザインやサインを話し合しましょう。」という時間があってもいいかもしれない。

・サイン考案部はどうやって情報を発信していこうかという話し合いが主な活動になると思うので、研

修室（ゼミ室）のような場所が必要ではないか。

➡大判プリンターとテーブルが欲しい。

➡個人では持てない編集ソフトなどが使えるパソコンが備わっているといいのではないか。

- ・告知やサインは、施設のどのような場所にあったらわかりやすいか。

➡エントランスやロビーがわかりやすいと思う。

➡食堂のメニュー表の横に広告が貼ってあると自然に目に入っているかもしれない。

➡トイレの壁にも広告を貼ることができたら良い。現在の苫小牧市役所でも実践されている。

- ・暇なときにぼんやり見ていたら情報が流れてくるような掲示板もあつたらいいのではないか。

- ・廊下や楽屋の待ち時間のときに情報を知ることができるような掲示板があるといいと思う。

➡電子パネルにしたら、貼り紙を貼り変える作業も場所も減らせるのではないか。

➡札幌駅にある柱に広告が映し出されているイメージ。

- ・告知と一緒に去年のハイライト映像が流れているようなパブリックビューイングの場所があつたらいいのではないか。